



R.I. District2610. ROTARY CLUB OF UOZU
魚津ロータリークラブ 会報誌
2008—2009年度 RI会長 李 東建 (リドンカン)
魚津R.C会長 大村 雅紹

第2643回 例会報告

2008年 8月8日

ゲスト並びにビジター紹介 ゲスト 池田 尚紀様 (魚津工業高校校長) ビジター なし

誕生祝 8月18日 清水夫人 妻シズエの誕生日のお祝いをありがとうございます。62歳になります。大変、忙しい日々を送っています。孫が来年で7人になります。妻の両親とも亡くなり、旦那も忙しく、皆様のご厚情も頂きました。今後は良い人生を過ごしてもらいたいと思っています。

米山奨学生 なし

会長挨拶 大村会長 魚津工業高校の池田校長先生、お忙しい中お出で頂きまして本当にありがとうございます。清水さん夫人の誕生日おめでとうでございます。ますますお元気でご活躍をお願い致します。

以前からお願いをしておりましたポリオの募金ですが地区の方に納入させて頂きました。来年、再来年と続きますので今後ともよろしくお願ひしたいと思います。先日月曜日に、諮問委員会を開いていただきました。杉野委員長以下、委員の方全員お集り頂き、今後のクラブの方針とか過去のいろんな出来事などについて助言を頂きました。我々は、それに基づいて頑張っていきたいと考えています。

植木の話ですが、「くちなしの花」は、寒いところには育たず、7月に開花しまして本州から南の方に樹生し高さは2~3mになります。白い花が咲くと良い香りの匂いがします。この近くでは家の近くの「ごうまん?の里」に何本か植えさせて頂き、現在元気に育っています。上野の国立博物館の本館前にも群生し見事な木になっています。

幹事報告 なし 8月の例会 8/15 お盆休会
8/19 西RCとの夜間例会 (18:30 楽遊)
8/29 卓話 (金岩君 → 清水君に変更)



出席報告 31名 86.11% 欠席:金山、中田、坪井、大城、吉森 メイクアップ:中島、谷川、第2641回 メイクアップなし 出席率変更なし 88.88%

ニコニコボックス 野澤君 今後ともインターアクトクラブの協力よろしくお願ひします
寺崎君 野澤さんお1人ではお気の毒、付き合いさせていただきます

委員会報告 谷広報委員長 魚津RCホームページを新年度版にリニューアルしました。「魚津RC情報」を新規に掲載します。一回目として、魚津市への歴史観光地地図の寄付の内容を掲載します。

「ロータリーの友 8月」の紹介:現代病...、カブトムシ...、なぜ会員が減るのか...

野澤インターアクト委員長 8/26 インターアクト年次大会、金沢商業高校 大村会長、平沢幹事、野澤、魚津工業高校(タカイ先生、クラサワ君)が参加します。 **辻IM実行委員長** 11日に委員の方は商工会議所に集まってください。役割分担などを決めてしまいたい。

本日の卓話 ゲスト卓話 魚津工業高校 池田校長先生 ...【魚津工業高校の内情について】

【経歴】 前任は大沢野工業高校校長を2年間、今年の4月に魚津工業高校へ赴任してきました。その前は、砺波工業高校で砺波RC定例会にも出席し、砺波工業のインターアクトの立ち上げにも関わった。

【卓話】 魚津RCには、「募金活動」、「清掃の奉仕活動」、「クリスマス募金活動」など、大変、お世話になっております。地域に根ざす工業高校に物心両面から支援を頂き、大変心強く思っております。

私は、大学卒業後Ykkに勤め5年近くこの地に住んでおりました。H8～10年の3年間、魚津工業高校の教諭を勤めていた。大沢野工業は再編統合の対象校で、地区の方々や学校の後援会などに、



同校の「ロボット」の伝統を新しい学校（富山工業高校と合併）に残すために尽力し、電子機械課となっている。今年から、魚津工業と言う永遠に残る学校に意気揚々と赴任してきた訳であります。工業高校の再編に関して、学校が減っても学課は減らすなど強い要望があり、平成22年に、その一つが本校に廻ってくると想定しており、将来を

見越した、地域に根ざした、地域企業のニーズに答えられるよう学校にしたい。4学級になるにあたって、どんな学級構成がよいのだろうか、先日、本校の将来構想委員会を開き、魚津、滑川、黒部の商工会議所の会頭に意見を頂き、90社にアンケートした。地元企業の要望から、機械、電子機械、電気、環境工学として見えてきた。本校は、新川地区に残る唯一の工業高校として、新しい物づくり、教育の拠点校としての能力を持ち、地域に根ざした学校を目指します。平成24年には創立50周年記念の式典を挙げる予定であり、新校舎ではないかもしれないが、セミナーハウスや実習棟は新しくなっていればよいと期待している。

続いて最近の生徒の状況ですが、今年、生徒は落ち着いて、勉強や部活動や物づくりや技術試験に取り組んでいる。昨日、物づくりコンテストの電子回路部門が本校で富山県大会が行われた。物作りコンテストは2001年に発足したが、若者の物作り離れや技術の伝承が危ぶまれているおり、若い高校生に物作りの楽しさ、厳しさを教えようということで始まった。7部門の内、本校としても3部門に出場したが、残念ながら北信越に進むことは出来なかった。在任中に一つでも二つでも、北信越さらには全国に出場できるような生徒を育てたいと思っている。9月23日に富山県が発祥の地であるアイデアロボットコンテスト富山県大会があり、今、そのロボットを作っている。11月にはマイコンカーラリーの北信越大会、1月に北海道で全国大会がある。また、1月31日工業技術論文発表があり本校からも出場します。

1年生のインターシップですが、全員が4月に二日間、7月には三日間経験させていただいた。工業高校に入って、すぐに経験することによって、物作りの大事さ重要性さを体験し、そのために何を勉強しどんな技術を身に付けるかを、わきまえた上で学校で実習してもらいたい。もう一つ、今年度から国の事業で地域の育成、担い手育成プロジェクトが始まりました。今年から3年間に渡って行われるが、これはインターシップにプラスして長期のインターシップとして10日間位を経験させる。デュアルシステムと言う事で、3年ほど、一週間に一回、企業にお世話になって一日3時間を業務・研修を受けるものである。教員の企業研修も始まる。企業と学校の共同研究も授業に含まれている。資源のない日本、物作りでここまで成長してきました。今後も、手に技術をつけ知識を付けて子供たちを伸ばすためにも、先生方自身が企業の現場へ行って先端技術なり企業の厳しい考え方を身に付けて、多くの生徒に伝えることが重要だと思っている。この事業については、別途、説明に廻ります。

ご迷惑をかけると思いますが、何卒よろしくをお願いします。

